がん化学療法レジメン

第1版	改訂日	

登録日	R3.12.9	実施区分	□ 入院のみ ■ 入院及び外来	初回入院	■ 必要
レジメン番号	泌尿器(UR)−025	診療科名	泌尿器科		
レジメン名	(Q3W)ゲムシタビン+CDDP療法				
レジメン補足	ゲムシタビン+シスプラチン				
がん腫など	尿路上皮癌				

薬剤名	漏出	投与量	1 (週)							2							3							4						
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
ゲムシタビン	炎症	1000mg/m^2	●							●																				
シスプラチン	炎症	70mg/m^2		●																										

1コース期間	21 日	目標コース数	□有 （ コース）	■無 （PDまで）
点滴時間	Day1, 8：約1時間、 Day2：約7時間			
注意事項など	Day1のゲムシタビン投与後、Day2の投与開始まで指示された輸液でルートキープ シスプラチン投与後1週間は尿量2,000mL以上を保つように そのため、シスプラチン投与後最低5日間は1日に1,000mL以上の補液又はそれに相当する経口補水液を摂取すること 制吐目的に、Day3-5にデキサメタゾンの内服(8mg)もしくは点滴投与(6.6mg)を行うこと			

Day 1, 8

《メイン》

投与順序	投与薬剤名	投与量単位	点滴時間投与方法
①	生食	100mL	15分点滴
	デキサメタゾン(デキサート)	6.6mg	
②	生食	100mL	30分点滴
	ゲムシタビン	1000mg/m^2	
	※点滴時間は1時間を超えないこと		
③	生食	50mL	フラッシュ
④	補液	1000mL	翌日までルートキープ
	※Day1のみ④の投与あり		

Day 2

《メイン》

投与順序	投与薬剤名	投与量単位	点滴時間投与方法
①	生食	500mL	2時間点滴
③	**①の投与終了後に投与開始**		
	生食	500mL	2時間点滴
	硫酸マグネシウム	20mEq	
④	**シスプラチン開始直前に投与**		
	フロセミド	20mg	ワンショット
⑤	生食	必要量	1時間点滴
	シスプラチン	70mg/m^2	
	※総輸液量を300mLに調製		
⑥	乳酸リンゲル液(ソルラクト)	500mL	2時間点滴

《側管》

投与順序	投与薬剤名	投与量単位	点滴時間投与方法
②	**①の投与開始と同時に投与開始**		
	生食	100mL	30分点滴
	パロノセトロン(アロキシ)	0.75mg	
	ホスアプレピタント(プロイメンド)	150mg	
	デキサメタゾン(デキサート)	9.9mg	